

2000年2月25日(金) 物流ニッポン 特集面掲載 実務ツールをネットで / 物流バンク徹する

日本ロジファクトリー(青木正一社長、大阪市中央区)は「顧客と一緒に経営戦略レベルから考える。満足いただける結果を導くノウハウを提供したい」という

積極的に取り組んでいるのは、1.物流コンペティション業務の代行サービス 2.最適物流業務構築のための基本的な実務ツールをインターネット上で提案・販売する「物流工房」 3.物流業務で利益を出すための物流診断やシステム提案 - などの商品パッケージ。

コンペティション業務代行は、荷主企業が扱う商品の種類や配送地域などを聞き取り、組織化して500社の物流企業に受注を呼び掛ける。見積書の取り寄せや物流施設の視察などを経て、費用とサービスが最適な企業を選び出す。

一連のコンサルティング期間は1.5~4ヶ月程度で、1件当たり150万円から。顧客の外注したい業務だけでは、1件当たり5万円から代行サービスを受けることができる。

注目されている商品パッケージの1つが「物流工房」。物流コスト算出表、物流現場チェックリスト、車両別原価計算表といった最適物流業務構築のための基本的な実務ツールをインターネット上で提案、販売する。

今春には、東京にも事務所を開設する。青木社長は「荷主企業と物流企業の温度差をなくす『物流バンク』をコンセプトに、物流業務の仕組みづくりをサポートしていきたい」と話している。